

社会福祉法人 東京聴覚障害者福祉事業協会

たましろの郷

所在地 東京都青梅市長淵 5-1420-2

TEL 0428-20-0722 FAX0428-20-0721



ろう重複者を対象とした障害者支援施設です。今年で開所 20 年目を迎えました。2021 年 9 月 1 日現在では生活介護事業を利用しているなかまは 46 名、施設入所の利用は 30 名です。

東京都にはありますが、みなさまが思い描く光まぶしい大都会ではありません。青梅市という伝統文化と自然豊かな場所。ニホンカモシカやイノシシが出たり…。



施設敷地内でがけ崩れが起きたり、冬には大雪が降ったり…。

思いがけないハプニングも含めて、なかま、職員で楽しみながら暮らしています。

たましろの郷 秋の展示会「地球」



新型コロナウイルスの影響で、数多くの行事やなかまの楽しみ、人との関わりが無くなっていきました。さらには働く場や活動成果を発表する場の確保も出来なくなる日々…。大人数が一か所に集まってのイベントは出来なくても、何か出来ないか…。そこで青梅市福祉センターの3部屋を借りて、なかまの作品を大々的に展示。施設内ではヨーヨー釣りや綿あめ作り、昼食もお祭りメニュー。さらには展示会場と施設内をオンラインで繋ぎ、お客さんとなかまを繋ぐイベントを10月24日(日)に実施しました。緊急事態宣言が解除されたこともあり、来場者数も上々。なかま達はお祭りメニューを食べながら、オンラインで1年振り以上に会うボランティアや施設支援者の方々との会話を楽しんでいました。



会場に入るとペットボトルキャップで出来た 170 cmを超える大きなたましろの郷のシンボルマークがお出迎え。

毎日活動が終わると、自動販売機でジュースを買い、おしゃべり。たくさんのペットボトルキャップがゴミとなります。分別、洗い物、色塗りを得意なかまが、下準備。同じものをたくさん並べることが心地いいなかまが、総仕上げ。大作が完成しました。



地球をテーマにしたスペースには、なかまひとり一人が描いた地球にまつわるものを展示。見たことのないような個性豊かな色合いの動物や風船で作った地球、天井に突き刺さるくらい力強い Monument。スペースが狭く感じるくらい目を見張る作品をたくさん展示しました。

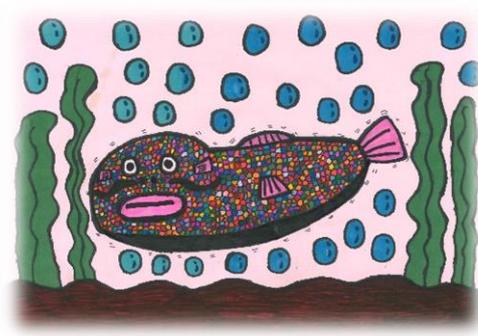




場内では展示の準備をしている様子を
ショートムービーにして上映したり、法人
設立 20 周年の企画、亡くなったなかまの
コーナーを設けました。



今後も施設主催の展示会、地域団体主催
の展示会などで、作品を通しての交流、ろ
う重複への理解を深める機会作りを図っ
ていきます。また、with コロナの動きの中
で自主製品販売の機会を確保し、工賃確保
に向けた動きも本格的に取り組んで行き
ます。



オンラインでの手話による関わりや作品を通じた自己表現と展示は、ろう重複
のなかまにとって「語り合い、伝え合う」多様な社会参加の形です。

たましろの郷 HP の QR コードはこちらです。ぜひご覧ください。→

